

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 03 月 12 日 作成)

委員会名	木質構造教育プログラム策定小委員会	主 査 名 : 野口 弘行
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名 : 西川 孝夫 主 査 名 : 鈴木 秀三
設 置 期 間	2003 年 04 月 ~ 2007 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本小委員会は、我国の学校、企業等における木質構造の教育の現状を明らかにし、木質構造の健全な発展を即すために、設計者・施工者・教師・学生の各者に対する木質構造の教育プログラムを策定することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	野口弘行(明治大学) 大橋好光(熊本県立大学) 坂田弘安(東京工業大学) 坂本功(東京大学) 遠山則孝(遠山設計事務所) 那須秀行(住友林業) 林知行(森林総合研究所)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2ヶ月に1回程度、委員会を開催。各回の委員会は3~4時間程度。 参加人数は回によるが、概ね4~5名程度。
得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・我国の学校における木質構造の教育状況を明らかにすべく、アンケートを実施した。 ・「木構造の教育に関するアンケート」と題し、木質構造関連の科目設置の有無、講義内容、今後の予定等を問うた。 ・配布先は、大学・大学院・短期大学・専門学校・高等学校(工業・農業)等で、280程度の配布先に対し、148の回答を得た。結果は、現在集計中。 ・今後、集計結果を鑑み、教育対象別に適切と思われる教育内容を検討する。併せて、教材等に具備すべき要件を整理してゆく。
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度の目標であったアンケートを実施できた。これにより、木質構造に関する教育の量・および内容について実情が判ってきた。 ・今後統計的な集計を進めつつ、教育内容のレコメンデーションプログラムを想定する足固めはできており、ほぼ初年度の目標は達成できたと思われる。
その他評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり建築学会とは馴染みがないと思われる高等学校や専門学校等に対してもアンケートを実施したことにより、建築学会への参加意識を高めるきっかけ創りとなった可能性も考えられる。